

ゼロシティ (1990)

ГОРОЛ ЭРО
ZERO CITY

メディア 映画

ジャンル サスペンス コメディ

製作国 ソ連

色彩 Color

時間 101分

初公開日 1991/04/27

公開情報 アスミック

【キャッチコピー】

迷いこんだら、二度と出られない…

【解説】

出張のためモスクワからとある田舎町にやってきた主人公バラモンは、首の形をしたケーキを出してきたコックの自殺を目撃し、殺しの犯人として捕まってしまう。1泊だけの予定が、このような不条理な事件によって足留めされ、町を出ることがどうしてもできない……。'90年頃のソ連をそのまま映し出しているような映画。ロシア映画にみられるような暗い雰囲気はなく、笑える楽しい映画だが、それはブラック・ユーモアとしての笑いであり、異常な世界に笑えば笑うほど意味深になっていくようだ。

【クレジット】

監督	カレン・シャフナザーロフ	Karen Shakhnazarov
脚本	アレクサンドル・ボロジャンスキー カレン・シャフナザーロフ	Aleksandr Borodyansky Karen Shakhnazarov
撮影	ニコライ・ネモリャーエフ	
音楽	エドゥアルド・アルテミエフ	Eduard Artemyev
出演	レオニード・フィラトフ オレーグ・バシラシヴィリ ウラジミール・メニシヨフ	Leonid Filatov Oleg Basilashvili Vladimir Menshov